

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録							
会 議 名		平成29年 第4回小松市教育委員会(臨時会)					
開 会 月 日		平成29年3月27日(月)		場 所		教育長室	
会 議 時 間		(開会)午後0時40分 ～ (閉会)午後 1 時25分					
休 憩 時 間		①(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分 ②(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分					
委 員 の 出 席	教育長	石黒 和彦		出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	野田 美和子		欠席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
	委員	吉原 慎吾		出席	出席委員 3 名、欠席委員 1 名		
出 席 説 明 員	教育次長 山本 裕		出席	シニアマネージャー 柿本 欣也		出席	
	未来の教育課長兼教育研究センター 所長 廣田 恵子		出席	教育庶務課長 吉田 均		出席	
	学校教育課長 波佐尾 雅人		出席	青少年育成課長 東谷 勝美		出席	
	教育庶務課参事 池田 美和子		出席			出席	
			出席			出席	
			出席			出席	
書 記							
傍 聴 者		0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【協議事項】						
	・松東地区小学校3校の統合後の校名・校歌・校章について						

教 育 委 員 会 報 告

件 名	松東地区小学校3校の統合後の校名・校歌・校章について
所管部課名	教育次長
内 容	【教育次長】 ①松東地区小学校3校の統合のスケジュールについて説明 平成29年度から統合の具体的な準備にかかる 平成30年4月1日から3校統合小中一貫教育をスタート 平成33年度に、松東中学校と統合し義務教育学校をスタート ②校名・校歌・校章の選定にかかる方針 校名・校歌は地域住民や卒業生、在校児童生徒等に親しまれ地域を象徴するものとなるため、その方々の心情に配慮した選定をする。また、33年度にスムーズに義務教育学校への移行も踏まえて選定する。 策定のスケジュールについて ・主な行事(3校に関係するもの) 30年度の3校統合を踏まえた西尾小学校のわくわく体験、松東中学校のスクールキャンプが開催される。募集、説明会、面談において学校コンセプトを周知していく。 4月学校コンセプトを周知。5月から教育課程・行事計画の検討、10月の募集開始には教育課程・行事計画の公表 ・校名 4月には方針決定し教育委員会会議で決定、総合教育会議・推進委員会で報告、7月には地域への説明と公表 ・校歌・校章は同様のパターン 方針決定、作詞・作曲、デザイナーの選定後作詞作曲・デザインの依頼 教育委員会会議で決定、総合教育会議・推進委員会で報告、12月には披露を予定している ・その他会議等 教育委員会議、統合推進会議、総合教育会議を数回開催予定。 【教育長】 先日の総合教育会議で校名について、統合と同時に中学校の校名もいっしょにしてしまうかとの話が出たがいかがか。 【蘆邊委員】 総合教育会議で、それもよいかと思ってそのような発言をした。先手先手で捕らえていけば最初は弊害もあるかもしれないが、そのうち治まり意識づけされ

	てくるのでないかなという気持ちはある。ただどのような弊害があるかは分からない。 【教育長】 新しい学校の教育を発信していくためには、そのほうがよい。ただ弊害は、完全に理解したうえでスタートすることが大事だと思う。 【北村委員】 一番大事なことは、新しい学校づくりのコンセプトの周知徹底し義務教育学校としてスムーズに移行することが肝心である。一貫教育から義務教育学校への一連の流れとして、地域のかたが大変不安視されている。地域のかたのこと等も総合的に考えたならば、30年度の統合には〇〇学校(学校かは分からないが)の名称をつけて、その中の初等部、中等部とかにする。松東中学校は愛着があり、すぐ変えれないと思いますので、30年度である程度中学校にも理解をしていただく。小学校の子ども達がまた中学校へ上がってきますので、流れを周知徹底されながら、30年31年32年は松東中学校の名称は変えられないかもしれませんが、仮称として例えば何々学園か何々学院か分かりませんが、何々学園中等部松東中学校といったふうにし、地域の理解を得る。一貫から義務教育学校への流れもスムーズにいくのではないかと。仮称と言うことで進めていけばスムーズに流れ、理解も深めてもらえるのではないかと。 【蘆邊委員】 あの地域一帯を松東というのであれば、松東という名称を使えばどれにもあてはまると思うので、そこを考えると中学校にも問題がないのではないかと。 【教育長】 2020年に学習指導要領が変わる。大変大きな違いが出てきます。プログラミング教育、小学校の3、4年生に今の5、6年生がやっている内容の英語教育が入ってくる。5、6年生は中学校1年生レベルになる。約700語の単語を覚えること、簡単な日常会話ができる。小松の子どもなら小松市のことについて発表ができるということ。 文科省でも誰が教えるのか解決されていないし、月曜から金曜の中に1時間をどこに埋めていくのかというような難しい状況にある。この時期だからこそ小中一貫という形を取りたい。北村委員の言われるように仮称ということであれば、うまくいくのではないかと。子どもを中心とした、現場を大事にすることが大事だと個人的にはそう思っている。 【北村委員】 教育委員会の視点ではなく、学校、子どもの視点で考えるべき。3年、6年は制度で決めているだけで、子どもの成長を見守るのが教育委員会だと思う。一貫は、国のほうでしてなかっただけで、当たり前のことだと思う。9年間は子
--	--

	ども達の点検見直しの時だと思う。日本は英語のレベルが、中国や韓国に比べて非常に低い。地域の声も聞いていくことが大事。 スケジュールに方針決定とあるが、地域の声を聞いての方針決定でないといけないと思う。そのところが心配である。校名、校章は連動している部分がある。どのように方針決定するのかが全然分からない。 【山本次長】 昨年来統合推進委員会の席上でいただいているご意見として、以前に地域に校名についてのアンケートをとってあるなかで、最終的には教育委員会のほうで決めてもらうしかないという合意はいただいている。再度4月の統合推進委員会で、改めてこのように決めさせていただきますことでご理解は取りたいと思っている。 【北村委員】 コンセプト、理由付けはきちっとしなければならない。 【山本次長】 前回の総合教育会議を受け、一部の地域のかたのご意見として地元に着くもあるので早急に中学校については変えないほうがよい。県教委としては、学校の名称には特に規定はないが担当者からは、児童生徒の気持ちを考えると早急に変えるのはいかがなものか。という意見はいただいている。また、有識者会議のメンバーの金沢星陵大学の村井副学長は珠洲市宝立小中学校の義務教育化にも関わっておられたことをふまえて意見を聞いたところ4年くらいかけて準備をしてきた。中学校の名称を早急に変えるのはいかがなものかという意見もいただいている。 【蘆邊委員】 30年から小学校の校名が変わることは地域のかたには了解が取れているのか。 【山本次長】 了解済みです。 【蘆邊委員】 校歌・校章は4ヶ月くらいの短期間でできるのか。 【山本次長】 どこの業者かはまだ決まっていないが、専門業者に確認したところ大体3ヶ月くらいでできるとのことです。 【北村委員】 今後の広域通学の募集については、受け入れ態勢等を保護者に伝えていく必要がある。 【蘆邊委員】 今後広域通学の児童生徒が増え、教室が不足するということはないか。 【山本次長】
--	--

	広域通学児童生徒の人数の制限もあり、統合後も人数も1クラス25人程度であり、40人を超えるというようなことは今のところ考えにくい。33年度以降義務教育学校になってからは、そういうことがありうるかもしれないが、それについて2学級になるということは現実的でないと思う。
--	---